りべらしおん

研究所ニュース
No.４９

「りべらしおん」は、フランス語で「解放」という意味です。

発行：**社団法人 福岡県人権研究所**
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50　福岡県吉塚合同庁舎内 TEL 092-645-0388　FAX 092-645-0387
Mail:fukuokajinkenken@happy.odn.ne.jp　URL:http://www2.odn.ne.jp/fukuokajinkenken/

第八回　海外人権・スタディツアー
～韓国（釜山・慶州）一月七日～九日～

国田房子さん宅にて（三列目中央が国田さんと遠藤さん）

二〇一二年一月七日（土）から九日（月）までの二泊三日で研究所主催の韓国人権・スタディツアーを催行しました。参加者は団長・事務局含め二八名です。

今回のツアー目的は、在韓日本人婦人の歴史や現状を学び現地で交流することでした。訪問したのは、『リベラシオン』一四〇号で後藤文利さんが紹介された芙蓉会釜山支部会長の国田房子さん、そして日本人女性達が暮らす慶州「ナザレ園」です。

一日目は国田さんのご自宅に伺い二時間ほどお話を聞きました。国田さんは今年数えで九九才になられ、韓国には七〇年以上住んでいらっしいます。会話の中で国田さんは、「日本にいたら韓国人と結婚した女性と言われ、韓国にいたら日本人と言われる。どちらの国にいても緊張しっぱなしですよ」と言って笑っていらっしゃいましたが、国田さんの笑顔の裏には、私たちが想像できないくらいの涙をながした歴史があるだろうと思いました。

二日目に訪問した「ナザレ園」には現在二四名の日本人女性が暮らしています。平均年令は八七才。寝たきりや痴呆になった方もお

られるとのことでしたが、園では私たち一行を一七名の方たちが迎えて下さいました。以下、今回のツアー参加者の感想を紹介します。

。。。。。。。。。。。。。。

今回の第一の目的は、先のアジア・太平洋戦争の戦中・戦後、韓国男性と結婚した日本人妻が韓国で現在も生活している様子を訪ねるものでした。

一日目は、芙蓉会釜山支部（在韓日本婦人会の改称）の会長をされている国田房子さんを訪ねました。釜山市内の瀟洒なマンションで娘さんと暮らされています。そこに二八人のツアー一行全員で押しかけました。しかし、笑顔で迎えていただきました。堀内団長が挨拶を行い、お土産として持参した柳川の鞠と白寿のお祝いとしての日本酒を手渡しました。その後、お話を聞くことができました。おつれあいさんとの出会いや思い出、韓国に来てからの生活の様子など淡々と話してくださいました。

二日目は、慶州ナザレ園を訪問しました。ホールで園長・宋美虎（ソンミホ）さんにご挨拶を行い、ナザレ園の歴史をビデオで拝見しました。そして、おばあちゃん達が待つ生活棟へ向かいました。そこにはもうおばあちゃん達が並んで待ってありました。簡単に挨拶をし、早速歌を歌ったり、話を聞いたりして楽しいひと時を過ごしました。ここに暮らしてある全員がこの地で骨を埋める決心をされているからでしょうか、ここに参加された方達は悩んでおられる様子は窺えませんでした。

ナザレ園での交流の様子

日本は、宋園長に二〇〇七年の秋の叙勲で旭日双光章を贈っています。そのこと自体は、とってもよいことですが、日本として支援はできないのだろうかと思います。

次の目的地は、朝鮮通信使記念館と瞻星台：チョムソンデ（東洋一古い新羅時代の天文台）と「良洞村」です。とくに世界遺産に登録されたばかりの「良洞村」は韓国の懐かしい風景でした。この懐かしさは日本の田舎にも通じるものでした。

三日目は、自由行動でしたので、龍頭山公園や国際市場・チャガルチ市場を見学しました。子ども達にスカーフやマフラーを買いました。

さらに、次の目的は、食事です。肉中心ではなくて、野菜・麺が中心でした。パジョンやカボチャの丸焼き・そーめんなど、どれも舌鼓を打つものでした。

最期は、同行した妻への感謝の意味もありましたので、スパにも挑戦してみたり、夜は、ロッテ百貨店の屋上から釜山の夜景を見たりすることもできました。ちょっぴり今までのお返しができたかなと思いました。

三日ともとても天気がよく、今までで最高の韓国旅行になりました。企画した事務局にはお礼を申し上げます。

帰ってきて、県立図書館に行って、ナザレ園関係を新聞記事で見てみると、けっこう記事がありました。知らなかったのは、自分自身のアンテナがなかったのだと思います。

会員　塚本博和・久美子

二〇一一年度第一回「人権啓発担当者のつどい」

一二月一五日、福岡市立婦人会館九階を会場に「人権啓発担当者のつどい」を開催、県内外から六四名の参加がありました。主催者挨拶のあと、田川地区人権センターの堀内忠さんが人権センターで実際に取り扱った在日外国人からの相談事例などの報告があり、参加者はグループに分かれて対応の仕方や問題点について話し合いました。堀内さんは「啓発担当者にはネットワークが重要。いろいろな方から知恵を戴いて問題を解決するという姿勢が必要でしょう」と語っていました。参加者からは「グループワークはよかった。このような会合を深化してほしい」「今後も身近な問題を扱って欲しい」という感想が出されていました。

問題提起する堀内委員長と参加者のグループ討議

ふれあいフェスタ二〇一一

一一月二七日（日）北九州市主催の「ふれあいフェスタ二〇一一」が小倉北区の西日本総合展示場で開催され、福岡県人権研究所からは「筑前竹槍一揆」についてのパネル展示と書籍販売を行いました。入場者は「筑前竹槍一揆という歴史を初めて知りました」と言って、熱心にパネルに見入っていました。講演会場では俳優の杉良太郎さんが、東北被災地に赴き支援活動を続けている話や盲導犬のデモンストレーションなどが行われました。

第三回外国人問題部会

一二月一一日（日）外国人問題部会を福岡市人権啓発センターで開催し、スリランカ人で会員のプレラクマラ・ジャガス・ディケラ・ガマララゲさんが「スリランカの人権課題」について報告しました。「スリランカでは名前を見たら親の出身地や職業が分かるので、名前を見て結婚を考える人もいる」という話や、「スラムに住む女性達が銀行から融資を受けられないため、自分たちの銀行をつくり、地域改善事業を行った事例」などがスライドを通して紹介されました。

参加者からは「話を聞いてスリランカに関心を持ちました。是非スリランカに行ってみたい」という感想が出されていました。

報告するクマラさん

人権資料・展示
全国ネットワーク
第一六回総会

二〇一一年一一月一七～一八日、田川地区人権センターを会場に人権資料・展示全国ネットワークの第一六回総会が開催され、全国一五団体から二八名が参加しました。

総会行事では、二〇一〇年度事業・決算報告、二〇一一年度の事業計画・予算の審議が行われ、議案通りに承認されました。

続いて水平社博物館の守安館長から、昨年一月に在特会関西支部の男性が水平社博物館や柏原地区住民に対して行った「差別発言連呼事件について」、田川地区人権センターの光武さんから「筑豊における強制連行の歴史について」、久留米市人権啓発センターの梅崎さんから「人権センターの展示について」の報告がありました。

二日目のフィールドワークでは、田川市石炭・歴史博物館や朝鮮人強制連行関連地などを巡りました。

参加者からは「近代を支えた人たちの苦労や犠牲の上で現在の繁栄があることを実感した」「現地に足を運んで地面の下にあったことを掘り起こして行かないかんなーと思った」という感想が出されていました。

第五七回全国夜間中学校研究大会

全国夜間中学校研究大会が一二月二日～三日、東大阪市民会館で開催されました。二〇一二年は「国連識字の一〇年」最終年です。しかし、国内にはまだ一〇〇万人以上の義務教育未修了者がいると推定されます。研究大会では、当事者に対する具体的な学習権保障として、早急な法整備の必要性が提起されました。

―年頭のご挨拶―
先行き不明の時こそ、確実なものを
短・中・長期的に見よう

一．はじめに

今年の年賀状は「恭迎新年」。「賀、慶、おめでとうございます」を入れなかった。

「三、一一東日本大震災・原発大事故は、戦後民主主義の欺瞞を一変させ災後社会が始まっています。緑、青空、清流のある持続する循環型社会を創るべく、今年も健康で集中したい」との思いと、私たちの研究所の礎を築いてきた福岡部落史研究会初代事務局長・原口頴雄氏の六七歳の逝去を悼んでのことである。

二．時代は大きな転換期

私たちを取り巻く地球・地域社会はＩＴ、グローバリゼーションにより大きく変わりつつある。

元旦の新聞を今年は福岡空港で全部入手して社説を中心に主な記事を読むことができた。各新聞社説のタイトルを抜き出してみた。

朝日は「ポスト成長の夜明け―すべて将来世代のために」、毎日では「２０１２年激動の年～問題解決の政治を」、読売は「『危機』乗り越える統治能力を～ポピュリズムと決別せよ」、西日本新聞では「成熟社会の新たな豊かさ求め」、日経新聞は「転換期日本変化の芽を伸ばす①資本主義を進化させるために」である。

いずれも時代の大きな転換期を訴えており、人類が経験したことのないグローバルな超消費、情報、高齢社会の到来に対し、成長、近代産業化の限界を指摘している。これらの「新しい年も難問が続く」（朝日）や「重苦しく心が晴れない新年」（西日本）に対し、どのような提言がされているか。

「シルバー（高齢化）とグリーン（環境）が次の活力ある経済をつくるタネになりうる」（朝日）、「消費税、沖縄、ＴＰＰ、原発の各課題は、いずれも先送りできない。日本が『三、一一』を克服し、平和と安定の方向に歩を進められるか。世界が注目している」（読売）、「伝統や自然に配慮し、健康や教育、文化の

多様性、コミュニティー等を重視する考え方だ。難しいが、新たな豊かさを切り開く道筋として、挑戦してみたい」（西日本）、「日本再生のためには、国家目標としてグローバル社会で生きぬくことを高く掲げ、転換期を乗り越えていこう―」（日経）。

三．では人権確立に向け、具体的にどうするのか

これらは、いずれも総論として間違っていない。必要なことは、私たちの（社団法人）人権研究所でどのような活動をするかである。

総会を経て皆様の協力により次の七項目の方向が実現できている。

1．季刊誌『リベラシオン』の定期発行
2．各部会活動の実働と機関誌への反映
3．松本・井元研究会の定例化
4．ボランティア協力者の登場
5．住民意識調査委託の拡大
6．赤字体質からの脱却の芽
7．公益法人への転換などである。

今年、これらの活動がさらに活性化すれば、公益法人への基盤づくりと実現が可能となり研究所はますます県民にとって必要な組織となる。

四．長期的展望と夢の実現を！

昨年、一二月二六日の解放新聞で研究所の歴史と活動が大きく紹介された。山本作兵衛ユネスコ世界記憶遺産日本初登録を研究所理事メンバーが舞台裏で担ったことも含めて。新年号からも日本近代化を現場で体験し、光と闇を記録してきた山本作兵衛が研究所理事メンバーにより執筆されている。研究所韓国人権ツアーで訪問した光州市の人権文書も登録された。記録物は国家機関の関連資料のほか、負傷した市民の病院記録や写真、金元大統領の事件の資料などである。昨年末、光州市に調査に行ってきた。

水平社宣言や全国水平社の活動資料がユネスコ記憶遺産になる可能性は、大いにあると確信した。

無念の思いで潰え去った先人の活動を未来の解放に向けて発掘する活動をぜひ今年も続けたい。

原口顕雄氏の著作・追悼号は九月の『リベラシオン』で特集号を組むことが執行理事会で確認された。皆様の投稿をお願いする次第である。

部落解放同盟福岡市協議会
二〇一二年新年旗開き開催

一月七日（土）午前一一時より三〇〇名が福岡サンパレスホテル二階パレスルームに集い、行われた。

高田保男福岡市協委員長・福岡市議会議員が、昨年の選挙の総括と、人権救済法成立に向けた今年度の決意を述べた。

髙島市長も来賓として出席し、アジアの中核都市での人権確立の大切さを述べた。緒方福岡市企業同和問題推進協議会代表幹事からは、多文化共生、企業の社会貢献活動の大切さが述べられ、好感が持たれた。進行は、池書記長が行った。

部落解放同盟福岡県連合会
二〇一二年新春旗開き開催

一月一〇日（火）午後一時半より五〇〇名が集い、西鉄ソラリアホテル八階で、恒例の旗開きが行われた。

原財務委員長の開会挨拶で始まり、組坂全国委員長の主催者挨拶では、松本代議士の病からの回復、救済法の早期制定、狭山再審要求、全国水平社創立宣言の記憶遺産登録運動などが述べられた。

小川知事、原口県議会議長、各政党からの挨拶があり、来賓として（社）福岡県人権研究所も紹介された。

小川知事は、同和問題の早期解決を県の最重要課題といわれ、人権救済法の実効性を強く言われた。進行は、吉岡書記長が行った。

森山理事長最終講義

三月で福岡県立大学を定年退職される福岡県人権研究所理事長森山沾一教授の最終講義が、一月二十日同大学で行われた。当日は、県立大学の学生はもとより、福岡県内、遠く熊本県や佐賀県から、かつての教え子や一般の方を含め、およそ三百人が聴講した。

「全国水平社」の結成宣言の中より、『熱と光を願求（がんぐ）して』と題した講義の中では、学生時代に知り合った女性が家に帰るとき、誰かと一緒の時は一つ手前か一つ先の駅で降りることを聞いたことが同和問題を取り組むきっかけになった。これまでの同和問題、人権教育の研究を通して今思うのは、「人には必ず良いところがあり、それを見つけていくことの大切さ」、「行きつくところは『同じ人間ただの人』ではないか」ということなどを熱く語られた。

会場の中には、「三十数年前と同じ、昔に戻って友と机を並べて森山先生の授業を聴講した。」という熊本県からの教え子たちもいて、遠くに住みそれぞれの道を歩みながらも、森山先生の教え子である縁をありがたく感じた九十分間であったという。

今般は山本作兵衛の作品が世界記憶遺産に登録されたことで、再三メディアに登場している森山理事長であるが、今後も「松本治一郎」、「井元麟之」らの研究はもとより、「水平社宣言」の世界記憶遺産登録に向けての活動にも意欲を持って取り組んでいくと述べた。

最終講義を行う森山理事長

教え子から花束をもらう理事長

会員懇話会

一二月一八日（日）に研究所で会員懇話会を行った。理事長挨拶の後、参加者それぞれが自己紹介を行い、研究所の将来に期待することや意見の交流を行った。意見としては、イベント等で研究所のことを認知してもらう時期であり、そのためにも日頃からマスコミとの連携を図るべき。会員を増やすための方策等が出された。その後、懇親会を兼ねた忘年会を開き、親睦を深めた。

松本・井元研究会活動報告

第一二回松本治一郎・井元麟之研究会

二〇一一年一二月二三日（金）

□　参加者　　八名

□　内　容

一．第一一回研究会の内容の確認

二．本日の活動

（一）　井元麟之史料目録と原物との照合

①　本日は、仮番号（仮５、仮７、仮１３、仮１４）を内容点検した。

井元史料　仮　５　…点検済み

（二〇一一・一二・二三）
井元史料　仮　７　…点検済み
（二〇一一・一二・二三）
井元史料　仮１１　…要整理
（史料が混ざっているので）
井元史料　仮１３　…点検済み
（二〇一一・一二・二三）
井元史料　仮１４　…途中
（二〇一一・一二・二三）

第一三回松本治一郎・井元麟之研究会
二〇一二年　一月一三日（金）
□　参加者　七名
□　内　容
一・第一二回研究会の内容の確認
二・本日の活動
（一）井元麟之史料目録と原物との照合
①　段ボール箱への仮番号貼付
②　本日は、仮番号（仮１４、仮１５、仮１６、仮１７、仮１８、仮１９―①）を内容点検した。
井元史料　仮１４…点検済み
（二〇一二・一・一三）
井元史料　仮１５…未
井元史料　仮１６…点検済み
（二〇一二・一・一三）
井元史料　仮１７…点検済み
（二〇一二・一・一三）
井元史料　仮１８…点検済み
（二〇一二・一・一三）
井元史料　仮１９―①…点検済み
（二〇一二・一・一三）
井元史料　仮１９―②…未
井元史料　仮１９―③…未
＊一月一三日段階で、段ボールで二一箱あることが判明。
③　カードの取り方の方法明示

図書紹介

頒価　１，０５０円

二〇〇六年三月発行の『学校は軍隊に似ている～学校文化史のささやき～』の続編が、昨年一一月にブックレット菜の花⑯『なぜ中学生は煙草を吸ってはいけないの～学校文化史の言い分～』として出版された。

本書は、福岡県人権・同和教育推進協議会機関誌『かいほう』の連載記事「羅針盤」や、季刊誌『ウインズ』に掲載された文章を大幅に加筆修正し、新たに書き加えられた内容で構成されている。

○新会員　大森奈美子（熊本市）

お知らせ

一般財団法人
カンボジア地雷撤去キャンペーン
ＴＥＬ０９２―８３３―７６７７

○家の中で眠っている中古テレビや家電製品を集めています。
集めた中古テレビや家電製品を、カンボジアの地雷被害者の就労（修理・販売）による経済的自立に役立つよう支援しています。
近年の経済成長によって、テレビや家電製品の修理や購入の需要が増加しています。
地雷被害者は、職業訓練校で修理技術を学び、それを生かした就業により自立を目指しています。
それで、学校や公民館で集め、事務所に連絡していただければ、スタッフが無料で回収します。ご協力お願いします。

お願い

新会員の勧誘にご協力下さい。

機関誌『リベラシオン』裏表紙に「入会のご案内」が掲載されています。別紙の入会案内がご入用の場合は事務局までお申し出下さい。

研究所日誌（２０１１年１２月～２０１２年１月）

・１２月　５日（月）事務局会
・１２月　８日（木）北九州企画展実行委員会　16～　20名参加
・１２月１０日（土）九州地区部落解放史研究集会総括会（熊本）13:30～
　　啓発部会　14～　４名参加
・１２月１１日（日）外国人問題部会　14～　6名参加
・１２月１２日（月）公益法人申請書類提出
・１２月１５日（木）人権啓発担当者の集い（啓発部会）14～　　64名参加
・１２月１８日（日）海外人権ツアー事前学習会　14～　　15名参加
　　会員懇話会　16～　9名参加
・１２月１９日（月）事務局会　　リベラシオン144号納品
・１２月２０日（火）全国人権ネット総括会（久留米）15：30～
・１２月２１日（水）外園監事来所
・１２月２３日（金）第12回松本・井元研究会　8名参加
・１２月２６日（月）事務局会　10：30～　　公益法人申請書類提出
　　福岡県税事務所　博多税務署　→　法人届け出　納税
・１２月２７日（火）福岡市税務課　法人届け出　納税
・１２月２９日（木）～　１月　4日（水）事務所閉局
・　1月　４日（水）県補助金申請書提出　　中川係長挨拶（山口）
・　１月　５日（木）仕事始め
・　１月　６日（金）四役会
・　１月　７日（土）部落解放同盟福岡市協新年旗開き（サンパレス）11 ～
・　１月　７日（土）～９日（月）海外人権スタディツアー（韓国）28名参加
・　１月１０日（火）部落解放同盟県連新春旗開き（ソラリア）12:30 ～
・　１月１１日（水）福岡県補助金入金
・　１月１２日（木）企同推研修（ココロンセンター）　14～
・　１月１３日（金）第13回松本・井元研究会　6名参加
・　１月１６日（月）事務局会
・　１月１９日（木）横山理事来所　　添田町に「史実と授業」共催依頼
・　１月２１日（土）第３回教育部会（堅粕人権のまちづくり館）14～
・　１月２２日（日）編集委員会　14～　　執行理事会　16：30～
・　１月２３日（月）事務局会
　　芦屋町意識調査分析打合せ　16：30～
・　１月２４日（火）石瀧塾　18:30～
・　１月３０日（月）事務局会